

令和6年度 旭市立干潟小学校 第3回学校運営協議会

期日 令和7年2月14日(金)
時間 15:00~16:20
場所 会議室

(出席者) 学校運営協議会委員9名、旭市教育委員会 山角社会教育指導員

【第3回学校運営協議会次第】 進行：事務局

- 1 始めの言葉
- 2 校長挨拶
- 3 今年度の教育活動報告について
 - (1) 学校評価アンケートの結果について
 - (2) 今年度の学校行事等について
 - (3) 意見交換

【学校評価アンケートから】

「学校は楽しいか」という視点

阿天坊委員：登校時の見守りの際、子どもたちから学校が楽しいという声を聞く。

鈴木(教)委員：「困ったときには、誰かに相談している」に対する児童の肯定的評価は、他の項目に比べ低い。昨年度までの傾向と同様である。

事務局：今年度は、年間5回の学校生活アンケート、年間2回の教育相談を実施し、その際に児童の悩みを把握できるようにした。今後も相談のハードルを下げられるように努力する。

「安全意識の育成」の視点

阿天坊委員：安全意識に関する点だが、校長や教頭が不在のときには、誰が指揮をとるのか。

加藤校長：安全主任もそうであるが、危機管理マニュアルをもとに、全職員が対応できるようにしている。

「学力向上への取組」の視点

鈴木(恵)委員：宿題の量については、個人差があり難しい。それぞれの子のペースに合った分量については今後も考えてほしい。

吉田委員：授業力向上のための研修は行っているか。

事務局：行っている。今年度は、「一人一授業」ということで、それぞれの職員が授業実践し、相互参観を行った。

鈴木(教)委員：「自分の考えを伝えている」に対する児童の肯定的評価は低い。今年度、学校公開の際に参観した5年生のディベートのような授業を引き

続き行っていくことで、成果があがっていくのではないか。

「読書 の視点」

鈴木(恵)委員：中学校では、朝読書を行っているが、家庭から本を持っていくことになっている。

吉田委員：読書をする環境をつくっていくことが大切だと思う。

鈴木(恵)委員：旭市で行っている物語給食の取組はおもしろい。給食から読書につながることもある。

「アンケート全体や今年度の教育活動から」

鈴木(恵)委員：干潟小は、これまでも地域とかかわりながら教育活動を行ってきた。今後も継続していくとともに、これまで実践してきたことを多くの家庭に知ってもらいたい。また、東総工業高校との連携や家庭教育学級を6年生で実施する等、次年度、取り組みたいことがあるので、学校と相談しながら進めていきたい。

阿天坊委員：挨拶は低学年が特に元気である。朝、学校を早くあけて児童が遊べる時間をつくるのはどうか。

鈴木(教)委員：業務改善の視点もあり難しい。

小野委員：次年度も引き続き協力していきたい。

鎌形委員：1年間、大きな問題はなく教育活動ができたように思う。

鈴木(教)委員：今年度の5年生の幼稚園・保育園訪問はとてもよかった。5年ぶりの実施となったが、児童も園児もよい経験となった。

吉田委員：小さい子とふれ合うことは、とてもよい機会だと思う。また、今年度PTA会長として感じたことは、学校の教育活動に参加するハードルを下げるのがとても大切である。

戸村委員：今日の話し合いも学校の応援団であるみなさんと、よい雰囲気で行うことができた。コーディネーターから話があったが、すぐにできそうなことは、実践していきたい。また、学校ができることについても考えていきたい。

加藤校長：敷居が低くなれば、より学校と地域が連携していける。干潟学区にある教育資源を生かし、広げていけるように、今後も努力していきたい。

4 令和7年度の主な学校行事について

5 連絡等

令和7年度学校運営協議会委員について

6 終わりの言葉 (事務局)